

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ながらく建築は文明の象徴とされ、あるいは時代の象徴ともされてきた。それは工業化以前の社会において、建築は、あらゆる芸術、技術の統合者だったからである。建築は、その時代に存在するさまざまな技術を統合し、組織化することによって、文明形成の大きな役割を担ってきた。しかし、それは物的な面にとどまるものではなかった。いうまでもなく美的統合体であって、絵画、彫刻、工芸、音楽、演劇などもそれに奉仕していた。建築は、その上に立って、時代精神を表現していたのである。

もともとヨーロッパの伝統的な考え方によれば、建築（アーキテクチャー）と建物（ビルディング）は、異なった概念であって、建築とは、ある美的意図をもって建てられた公共的な建物のみをいったのである。古代に、民家などの建物と誰の眼にも明瞭に区別される建築が登場したときに、都市が、そして文明が誕生した。そしてその最初の建築に、その文明の主モチーフが、すでに現れていたのである。文明（シビリゼイション）ということば自体が、都市に結びついており、都市は文明の実体といっても過言ではないが、都市を文明の実体とするものこそ建築にほかならなかった。A 建築は、歴史のなかで、ながらく文明の象徴であり続け、またその時々における時代精神の象徴ともなってきたのである。

ヴィクトル・ユーゴーは『ノートルダム・ド・パリ』のなかで、ゴシック大聖堂を例にとり、建築は、革命的なものを含んで、①その時代のあらゆる思想がしるされた燃えない本であるといっている。しかし彼は、それに続けて、印刷術の発明は、建築をこなごなにうちくだいたとし、ルネッサンスは建築の落日であったにもかかわらず、X と書いた。近代になると、諸芸術は建築からはなれて自由にはばたき、さらにコミュニケーション手段の発達は、これらの諸芸術をも個へと分解していったし、科学技術のめざましい発展は、もはや建築によって統合されるには、あまりにも巨大で、複雑なものになってしまった。

B 工業社会は、その一方で、史上空前の建設時代を到来させた。旧帝国ホテルの設計者で、アメリカの国民的英雄とされたフランク・ロイド・ライトは、少年時代に父親の書齋にあったユーゴーの『ノートルダム・ド・パリ』を読んで、建築家になろうと決心したという。彼は、工業社会によって、ふたたび建築の日の出がおとずれるだろうと信じたのだ。著書『伽藍が白かったとき』に、「ニューヨークの摩天楼は小さすぎる」と書いた近代建築運動の闘將で、東京上野の国立西洋美術館の設計者ル・コルビュジェもまた建築の日の出を信じた一人だったといえる。C 彼らのつくりだした近代建築の様式は、全世界を覆っていったのである。

近代建築がなしとげた革命は、木や石や土やレンガといった土着的、伝統的な建築材と、それによってなりたつ建築様式を、鉄、コンクリート、ガラスといった工業製品による建築様式にかえたということだけにあるのではない。より根本的なことは、Y 「と宣言することによって、これまで建築とは考えられていなかった一般の民家はもちろん、自転車小屋のようなものでさえ、美の対象となることをあきらかにしたことである。そしてアパート、オフィス・ビル、工場等々が、近代建築家たちにとって、もつとも主要なテーマとされた。

この②機能美とよばれる新しい美の登場したとき、そこにはたしかに新鮮な驚きがあった。しかし、それがどこにもかしこにもみられるようになってくると、まことに退屈なものでしかなくなってきたのである。近代建築家たちは、すべてのビルディングをアーキテクチャーに高めようとしたが、その結果、すべてのアーキテクチャーを、ビルディングにすぎないものにしてしまったのではないのか。大都市には、超高層ビルが林立し、かつて存在しなかったようなマンモス・ビルが建てられている。しかし現代人は、営々としてグラクタの山を築いていくにすぎないのではないか。これは単なる比喻ではない。D 現代建築は、物理的な耐用年限だけをとり、みても、数十年、せいぜい一世紀しかもたない。日本のように湿気が多く、大地震を予想しなければならぬ国土で、E 酸性の雨が降る大都会にあつては、これが短くなることはあつても長くなることはない。もはや建築は、永久の象徴ではない。建築は解体したのである。

ヴィクトル・ユーゴー……一九世紀のフランスの詩人・小説家。『レ・ミゼラブル』の作者。
伽藍……大きな寺院の建物。

摩天楼……高層ビル。

林立……林のように多くのものが並んで立っていること。

問一 A Eに入る最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア というのは イ そして ウ しかも

エ けれども オ それゆえ

問二 傍線部①は、どういうことか。十字以内で答えなさい。

問三 X・Yに入る最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 建築は文明の誕生をしらせる烽火^{ほうか}である

イ わら家に名馬つなぎたるがごとし

ウ 機能的なものは美しい

エ 人びとはそれを日の出と錯覚した

問四 傍線部②「機能美とよばれる新しい美」とは、具体的にどういうことか。本文中の言葉を用いて四十字以内で答えなさい。(句読点も一字を含む)

問五 本文の表題として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本建築の原型 イ 歴史のなかの建築

ウ 都市と建築 エ 現代建築の解体

二 次の傍線部のカタカナを漢字に漢字をひらがなに直しなさい。

① ブジョクされる

② キカツにあえぐ

③ ゴオンで読む

④ 厳しくセツユする

⑤ 悲惨なキョウガイ

⑥ ソウスイに推される

⑦ 容姿タンレイな人

⑧ 行政のタイマン

⑨ 再建にジンリョクする

⑩ 資格をソウシツする

⑪ ユエツに浸る

⑫ クチュウを察する

⑬ 人口が逡減する

⑭ 叙勲が行われる

⑮ 慈善活動をする

⑯ 暁天に染まる

⑰ 再発の虞がある